

## シンプリー・ブラック：アラン・シルベスタインによるオロロジカル・マシン No.2 の新ケースデザイン

MB&F の愛用者を驚かせるのは並大抵のことではない。しかし、フランス人時計デザイナー、アラン・シルベスタインがケースを手がけたオロロジカル・マシン No.2 の最新版なら可能かもしれない。アラン・シルベスタインは大胆な模様・色使いで広く知られており、冒険好きなマキシミアン・ブッサーなら、彼のその傾向を限界まで引き出せると誰もが予測したはずだ。しかし、この2人から誕生したのは「ブラックボックス」という愛称を持つ、バウハウスの潔さと抑制を体現したようなケースだった。宝石のような精巧さを持ち合わせながら、1940年代のミニチュア・ボックスカメラを彷彿とさせる作品だ、とシルベスタインは語る。

新モデルの正式名はオロロジカル・マシン No.2.2 である。

### “.2”が生むオリジナルとの違い

MB&F (マキシミアン・ブッサー&フレンズ) は、才能豊かなプロフェッショナル達とのコラボレーションを通じてよりラディカルなコンセプトウォッチをデザイン・少数生産する会社だ。ブッサー/シルベスタインモデルは瞬時のジャンピングアワー、同心のレトログラード式分針、レトログラード式日付表示、南北両半球ムーンフェイズ表示、自動巻きを組み合わせた、世界初のメカニカルムーブメントを特徴とする 2008 年に発表された、オロロジカル・マシン No.2 をベースに作られている。

MB&F が手がけたオリジナル版ケースは時計製作の歴史の中で最も複雑なものである。しかし、その開発者らはクリエイティブな活力を維持することを好む。アラン・シルベスタインはケースのデザインを依頼された2人目の「フレンド」であり、彼のコンセプトは 8 本限定の時計に表現された。ケースには「オロロジカル・マシン No.2.2」の刻印がきざまれている。

1人目の「フレンド」、アメリカのセージ・ヴォーンは、デュシエンヌ型筋ジストロフィーの研究を支援するために今年開催されたチャリティ・オークション「オンリーウォッチ」のためのモデルを手がけた。

デザインの面では、シルベスタインのケースはフライング・バットレス・ラグが付いたオリジナル版のオロロジカル・マシン No.2 が持つツイン・ポートホール文字盤やパワフルな特徴をそのまま残しつつも、それらを除けば、全く新しいコンセプトおよびデザインになっている。オリジナル版の SF 的外観は姿を消し、より軽快で奇抜な、独自の個性を持つケースが誕生した。

### 壮大かつ小さなインスピレーション

アラン・シルベスタインへの依頼はいかにも MB&F らしいクリエイティブなアプローチだった。マキシミアン・ブッサーはプロジェクトを説明しながら、「アランに時計を渡して、楽しんで！とだけ伝えたんだ。すると、彼は僕の意表をつくようなデザインを持ってきた。とてもカラフルなものを予想していたんだけど、彼は黒いボックスをデザインしたんだ！」と語る。「実は、初めてオリジナルのオロロジカル・マシン No.2 を見たとき、1940年代のミニチュア・ボックスカメラが頭に浮かんだんだ。ポートホールはレンズを思い起こさせた。僕はミニチュア・ボックスカメラが持つ使い易さとバウハウス・ムーブメントの機能性を組

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadiraglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33

み合わせることで、時計に新しい個性を与えようと考えたんだ。」とアラン・シルベスタインは笑みを浮かべながら語る。

## 宝石のように加工されたチタン

彼はオロロジカル・マシン No.2 のスチール製土台を基礎に、チタンの塊のような長方形のケースを生み出した。このような多層構造により、パワフルかつ工夫を凝らした印象の時計が出来上がった。

しかしケースの外観はシンプルだ。チタンにはシリコンを取り入れた独自の PVD コーティングが施されている。その結果、ソフトな感触と指紋の付きにくさに併せて、黒色の独特な力強さが生まれた。物を理解するには実際に触れなければならないと語るシルベスタインは、ケースの感触にとくに重きをおいた。ケースの形状に関しては、彼は自身のアプローチをダイヤモンド研磨工のそれに例え、ケースの光の捕らえ方によってマット面と研磨面の遊びを工夫した。構造自体がエレガントなため、装飾はほとんど必要なかった。ケースの側面にはめ込まれた赤いエナメル製の 2 本線はケースに貴重なアクセントを加え、ツイン文字盤のマーキングと同色になっている。

## 外見と個性を兼ね備えた文字盤

右側の開口部にある文字盤には、オロロジカル・マシンとして初めて搭載されたジャンピングアワーがあり、周りは同心のレトログランド式分針で囲まれている。左側の文字盤はレトログランド式日付表示とムーンフェイズだ。1920 年代や 1930 年代のグラフィックアーティストのように、細部に至るまでアラン・シルベスタインが手がけていることから分かるように、文字盤は強烈な個性が印象的だ。「文字盤は時計の顔だから、かなり長い時間をかけて大きさや形を考える」と彼は言う。赤色の文字には、暗闇でも読めるように、すべてスーパールミノバが使われている。最高のバウハウスの伝統の中でも、この時計は読みやすい。

しかし、デザイナーはフランス人だ。まして、彼はバウハウスに奇抜さを加えて表現することを好む。開口部の月はアールヌーボー時代にアメリカで製作された代表的な漫画「リトル・ニモ」の中で登場する月を思い起こさせる。アラン・シルベスタインはその様子を「思いやりがある」とし、23 年間にわたり文字盤の周囲に月をデザインしてきた。

## 共作する事の喜び

アラン・シルベスタインはオロロジカル・マシン No.2.2 に自身の足跡をさまざまな形で残している。ケースのサイドには“*Le vrai bonheur est d'avoir sa passion pour metier*”（「幸福とは仕事への情熱である」）という言葉が目に見えない程小さい文字で刻まれている。この言葉は彼のモットーであり、彼は MB&F で同じ考えを共有する人々に出会った。「何よりも、力を合わせるという喜びを味わったよ。僕が最初のコンセプトを仕上げた後は、素材選びから文字や仕上げに至るまで、ケースのあらゆる側面を皆と一緒に作り上げたんだ。最終的に少しだけユーモアを加えたシンプルでピュアなデザインが出来上がった。僕が何よりも満足感を感じるのは、誰かがこの時計を腕に着けて顔が輝くのを目にする瞬間だ。」

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadiraglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

E メール: [cy@mbandf.com](mailto:cy@mbandf.com) 電話: +41 22 508 10 33

## 2人のクリエイターについて

アラン・シルベスタインはフランス人で、ブサンソンにアトリエを構える。インテリア設計とデザインを学び、ほどなく高級時計のデザインで才能を開花させた。幾何学模様と色を巧みに操る才能は、斬新さとウィットに富んだコレクションを誕生させていく。マキシミリアン・ブッサーが彼の作品を初めて目にしたのは20年前。彼がドアを下ろしたBMW Z1の運転手席からあらわになる巨大なブラック・クロノグラフを手がけていた時のことだった。時代の何年も先を行っていたそのクロノグラフの外観と大きさが、のちのMB&Fの創設者がそのクリエイターを今日まで注目するきっかけとなった。「アラン・シルベスタインのコレクションには毎年驚かされる。彼は真のアーティストだが、決して深刻すぎることはない。彼が持ち続ける子供の心はMB&Fが大切にしているクオリティだ」とマキシミリアン・ブッサーは言う。

4年余り前、マキシミリアン・ブッサーはハリー・ウィンストン・タイムピースーズ社のトップという理想的な職を離れ、才能豊かなプロフェッショナル達とのコラボレーションによりラディカルなコンセプトウォッチをデザイン・少量生産する会社、MB&Fを立ち上げた。あるいは「私の頭の代わりに私の本質を語らせる」ためだったとも。そして、これは彼のプロジェクトに参加するすべての独立したクラフツマン、エンジニア、ウォッチメーカーに共通する精神でもある。マキシミリアン・ブッサーはスイスとインドの血を両親から引継ぎ、このバックグラウンドが完璧な伝統的クオリティと自由奔放でクリエイティブな想像性を組み合わせることへの飽くなき欲求の源だと考えている。現在までに、オロロジカル・マシンNo.1、2、3が発表されている。

### 真の「ブラックボックス」は内側に

新たに発表された時計は、2008年に限定発売されたオロロジカル・マシンNo.2を独自に解釈した作品だ。HM2はマキシミリアン・ブッサーと彼のフレンズたちが得意とするハイエンド・オロロジーへのラディカルなアプローチの特徴を示している。それは21世紀のハイテク・タイムマシンであると同時に、極めて洗練されたマイクロメカニカルな芸術作品である。MB&Fでは「エンジン」と呼ばれる世界初のメカニカルムーブメントには、瞬時のジャンピングアワー、同心のレトログレード式分針、レトログレード式日付表示、南北両半球ムーンフェイズ表示、自動巻きの機能が揃っている。

内面的には、オロロジカル・マシン No.2.2は「ブラックボックス」であると同時に、子供時代の夢の産物でもある。ディープブルーの22カラットゴールドの自動巻きローターには最高級の伝統的ウォッチムーブメントにのみ施される宝石級の手仕上げが見て取れる。しかし、その特徴的な鎌形はマキシミリアン・ブッサーの幼少時代のヒーロー「グレンダイザー」が巧みに操った両刃のバトル・アックスをモチーフとしている。「スター・トレック」、「サンダーバード」、「ドクター・フー」、「スター・ウォーズ」といったTVのあらゆるSFシリーズはMB&Fのクリエイションに一役買っている。想像の世界への憧憬と高級オロロジーに対する限りなく純粋な愛との緊張感こそが、彼らの作品にバイタリティを与えているのだ。

詳細についてはこちらまでお問い合わせください:

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

Eメール: cy@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 33

## オロロジカル・マシン No.2.2 技術仕様

### ムーブメント：

アジェノー社のジャン＝マルク・ヴィダーレヒトがジラルール・ペルゴの発振器とギアトレインによって調整および動力供給される機能を設計

28,800 振動/H でのバランス発振

22 金ブルーローズゴールド「バトル・アックス」自動巻きローター

部品数：349（石数 44 を含む）

### 機能：

左の文字盤：レトログランド式日付表示およびムーンフェイズ

右の文字盤：ジャンピングアワー表示および同心のレトログランド式分針

### ケース：

シリコン PVD コーティングチタン（8 本の限定エディション）

寸法（リューズおよびラグを除く）59mm x 38mm x 13mm

30 メートル防水（3 気圧）

部品数：89（ケースのみ）

### サファイアクリスタル：

文字盤側は両面反射防止加工

ディスプレイ背部は片面反射防止加工

### 文字盤：

シルバーコーティング

### ストラップおよび留め金：

手縫いの黒牛革にチタン製カスタム仕様のバックル

### 化粧箱：

リューガー社の温度計を組み合わせた、アルミ・皮製の精巧なインストゥルメントケース

詳細についてはこちらまでお問い合わせください：

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

E メール: [cy@mbandf.com](mailto:cy@mbandf.com) 電話: +41 22 508 10 33

## オロロジカル・マシン No.2.2 を作った「フレンズ」たち

コンセプト： マキシミアン・ブッサー

製品デザイン： エリック・ジルー、アラン・シルベスタイン

技術・製造管理： セルジュ・クリクノフ／MB&F

ムーブメント開発： ジャン＝マルク・ヴィダーレヒト／アジェノー、  
マキシミアン・ディブラシ／アジェノー、  
パトリック・レテ／レ・ザルティザン・オルロジェ

ムーブメント製造： サルヴァトーレ・フェラロット／APR Quality、  
ジョルジュ・オウアー／メカウオッチ、  
ホセ・ペレズ／クラマックス、  
ジャンニ・ディブラシ／クラマックス

ムーブメント部品手仕上げ： ジャック・アドリアン・ロシャ、  
デニス・ガルシア／CL ロシャ

ムーブメント組立： ディディエ・デュマ、ジョルジュ・ヴァイシー／MB&F

ケース組み立ておよび製造： ドミニク・メニエ、ベルトラン・ジューネ／G&F シャトラン

文字盤： フランソワ・ベルンハルト、デニス・パレル／ネイトバー

針： ピエール・シリエ、イザベル・シリエ／フィドラー

化粧箱： イザベル・ヴォドー／ヴォドー

コミュニケーション：

グラフィック・デザイン： ジェラルド・ムリエール、アルバン・トーマス、／GVA スタジオ

製品撮影： マーテン・ファン・デル・エンデ

ディスプレイ制作： フレデリック・ルジャンドル／レコーニ

「フレンズ」撮影： レジス・ゴレ

ウェブ開発： ステファン・バレ、ギヨーム・シュミッツ／スモー・インタラクティブ

テキスト： バーバラ・キャフィン

プロジェクトマネジャー： エステル・トネリ／MB&F

詳細についてはこちらまでお問い合わせください：

Charris Yadigaroglou (MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland)

Eメール: [cy@mbandf.com](mailto:cy@mbandf.com) 電話: +41 22 508 10 33